

公立学校共済組合京都支部保健事業等検討委員会まとめについて

保健事業等検討委員会は、京都支部が実施する特定健康診査・特定保健指導、人間ドック等検診事業、メンタルヘルス関連事業及び一般事業等について検討を重ね「保健事業等検討委員会まとめ（保健事業の在り方について）」として、提出されました。その概要は次のとおりです。

1 特定健康診査・特定保健指導事業

- 受診率の向上のためには法定検診の受診を徹底すること、広報誌（福利きょうと）やホームページ、発券時の通知等を活用し受診啓発に引き続き工夫、努力を行うこと。
- 実施率の向上のためには「受診勧奨者」への利用券の発券に向けて検討すること、人間ドック等、法定検診の早期実施について働きかけること。
- 当該年度中の利用券の発券に向け、法定検診と人間ドックの重複受診による事務の停滞が生じないこと、検査項目に欠損が生じないこと。

2 人間ドック検診事業

- 検査項目は現行の基準検査項目で必要な項目は満たしており、現時点で特段の見直しを行う必要性は低いこと。
- 北部地域の組合員の受診機会を拡充すること。

3 単独、器官別検診事業

- 現行の検診事業を維持しつつ、り患率及び発見率の高い時期に着目した検診機会を確保すること。
- 新たな器官別検診の拡充等は予算議論等も踏まえつつ、引き続き検討すること。

4 メンタルヘルス関連事業

- プライバシーの保護や利便性に配慮しつつ、任命権者と支部及び本部が十分に連携し、効果的な実施が求められること。
- 更なる利用促進に向けた周知に努めるとともに、カウンセリングが受けやすい工夫を図ること。

5 一般事業

- 当面、一般事業については現行事業を実施すること。
- 育児用品、介護機器レンタル助成事業については、昨今の社会情勢を踏まえ、利用者は伸びていないものの継続の必要性があること。
- 健康管理セミナー、ライフプランセミナー、介護講座の各事業については、更なる内容の充実を図り、互助組合の優れた企画力などの特長を活かしながら一層の連携を行うこと。
- 個人参加や職場単位での実施に関わらず、今後とも効果的な事業運営、予算執行を期待する。
- 利用率の低い事業や参加者の少ない事業については、今後、更なる周知方法の工夫に努め、組合員が利用、参加しやすい事業を目指す必要がある。
- スケールメリットの活用については、互助組合が既に実施している事業や契約施設との重複及び地域によって利用できる施設数に差が生じ利便性に公平性を欠くことが考えられること、利用実態に関わらず組合員数に対して一定額の費用負担が必要となること等の課題に加え、他支部での導入状況などの見極めが重要となる。

平成25年度 公立学校共済組合京都支部保健事業等検討委員会開催経過

開催日時、場所	検 討 事 項
第8回 平成25年5月27日(金) 14:00～17:00 ルビノ京都堀川「銀閣」	1 特定健康診査・保健指導実施状況について 2 人間ドック等健診事業実施状況について 3 一般事業（作業部会設置）について
第9回 平成25年7月19日(金) 15:00～17:00 ルビノ京都堀川「松」	1 特定健康診査・保健指導の現状課題について 2 人間ドック等健診事業の検査項目等 3 人間ドック等健診機関について 4 器官別検診等について 5 保健事業等検討委員会アンケート結果及び分析
第10回 平成25年9月20日(金) 15:00～17:00 ルビノ京都堀川「松」	1 人間ドック等健診事業の検査項目等 (1) 検診項目の見直し (2) 北部地域健診機関、健診機会の拡充 (3) 器官別検診等について 2 一般事業について（作業部会現状報告）
第11回 平成25年12月20日(金) 15:00～17:00 ルビノ京都堀川「松」	1 一般事業について（作業部会報告） 2 メンタルヘルス関連事業について
第12回 平成26年2月7日(金) 15:00～17:00 ルビノ京都堀川「ひえい」	1 保健事業の在り方についてまとめ（案）
第13回 平成26年2月28日(金) 15:00～17:00 ルビノ京都堀川「ひえい」	1 保健事業の在り方についてまとめ（案）